

会 議 録	
会 議 名	令和 4 年度第 2 回丸亀市スポーツ推進審議会
開 催 日 時	令和 5 年 3 月 27 日 (月) 午後 6 時～7 時 30 分
開 催 場 所	丸亀市市民交流活動センターマルタス 多目的ホール 1
出 席 者	出席委員： 秋山 ともえ・漆原 光徳・大星 敬子・木村 洋子 多田 光廣・堀田 めぐみ・前谷 智仁・松崎 隆 山本 久美子 (50 音順・敬称略) 傍聴人： なし 事務局： 田中市民生活部長 奥田課長・野本副課長・坂田担当長・折坂副主任 (スポーツ推進課) 学校教育課：御厨学校教育サポート室長
協 議 案 件	議 題 (1) スポーツ推進課令和 5 年度主要事業の概要について (2) その他
議事の経過 及び発言要旨	1. 開会 2. 市民生活部長あいさつ 3. 議長選任：会長に議長をお願いする
事務局 (野本副課長)	本日はお忙しい中、ご出席いただきありがとうございます。 ただいまから、令和 4 年度第 2 回丸亀市スポーツ推進審議会を開催いたします。本日の会議は「次第」に沿って進めてまいりますのでよろしくお願い申し上げます。 本日の会議は委員 10 名のうち、8 名ご出席いただいておりますこと、過半数に達しておりますことから、丸亀市附属機関設置条例の規定により、審議会が成立しておりますことをご報告申し上げます。 それでは審議に入ります。 議事の進行につきましては、丸亀市附属機関設置条例第 7 条の規定により、漆原会長に議長をお願いいたします。
議長 (漆原会長)	それでは次第に従いまして議事を進めさせていただきます。議題(1)スポーツ推進課令和 5 年度主要事業の概要について事務局から説明をお願いします。
事務局 (小林)	資料に基づいて説明。
事務局 (坂田)	資料に基づいて説明。
議長	ただ今の説明について質問はありますか。
委員 (松崎)	天皇杯全国軟式野球大会補助金はどこのチームに出すのですか。
事務局 (奥田)	天皇賜杯軟式野球大会は全国各都道府県持ち回りで開催されておりますが、補助金はチームに対してではなく、大会に対する運営補助金になります。
委員 (多田)	そちらへの運営補助金は、開催時にだけ補助金を出す規定や、どうい

	<p>ケースになれば補助金を出すというような規約はあるのですか。</p>
事務局(奥田)	<p>きちんとした規約はありませんが、今回の天皇賜杯硬式野球大会に関しましては、今まで毎年行われてきた大会ということですので、これまでの他県の事例や、県内の各市町の状況についても確認し、参考にしたうえで、丸亀市としてどこまで協力できるのかといったところを協議しております。大会開催にあたり、県内自治体に負担のお願いの要望もありましたが、市としてできる範囲が当然ありますから、ご要望通りではありませんが、毎年開催されている全国大会、歴史もある大会ということも鑑みて考慮させていただきました。</p>
委員(多田)	<p>他の競技もあるので、規約がないと、この時は出した、ここは出さないといった問題ができて困るだろう。いろんな種目で全国大会をするから補助金を出してほしいということがあり得るので、条件を決める必要があると思います。</p> <p>野球だけではなく、いろんな種目で、今後も大会が開催されることあると思うので、この条件であれば補助金を出すという規定がある方が説明しやすいと思います。</p>
事務局(奥田)	<p>規定がある方が、公平に執り行うにあたっては当然のことだと思います。今後の課題とさせていただきます。</p>
委員(多田)	<p>天皇杯という国体以外の天皇という冠がある大会はあまりないが、規定を作る上では参考になるのかと思います。</p>
議長	<p>規定を作る上で公平性は必要だと思います。事務局の方で調査をお願いします。</p>
事務局(坂田)	<p>続きまして、部活動の地域移行の事業について、現在、市教育部学校教育課とスポーツ推進課で、現在、月1回程度、意見交換会をしております。地域移行の事業概要につきましては、市の教育部学校教育課、学校教育サポート室長、御厨より、説明を申し上げさせていただきます。</p>
事務局(御厨)	<p>私の方から、地域移行の説明をさせていただきます。</p> <p>今後の丸亀の具体的な取り組みについて、大きく5点ご説明させていただきます。</p> <p>まず1点目、令和5年度から県教育委員会が実施する部活動指導員配置事業に取り組みます。</p> <p>部活動指導員は、これまでの丸亀市において随分助けていただいた外部指導者とは違い、単独での指導とか大会の引率を任せることができます。外部指導者の方はもうほぼ年間1万円程度のボランティアで指導いただいていたのですが、今後の地域移行の人材確保にも繋がる活動指導員については、1時間当たりの単価は1600円の報酬で、市内中学校の部活動顧問として支援していただくこととなります。</p> <p>大体平日週1回の2時間と休日土日のどちらか、1日3時間の月3回、12ヶ月分。他に仕事をされている方も入れて、このような形で大体3名程度の予算を確保しております。こちらは国県市3分の1ずつの補助の事業になります。</p> <p>2点目は、学校教育課に会計年度任用職員として部活動コーディネーターを配置します。</p>

	<p>部活動コーディネーターを中心に、丸亀市の実態に合った地域移行を、関係課と連携しながら進めていきたいと考えております。</p> <p>3点目は、今後の長期的な見通しを持つために、丸亀市のロードマップを作成したいと考えております。このロードマップの作成については、国の状況なども現在いろいろと変化している状況にあるので、国や県の動向に注視しながら、柔軟に対応変更しながら作成に努めていきたいと考えております。2点目にお伝えした部活動コーディネーターは、このロードマップの作成にも中心に関わってきたと考えております。</p> <p>4点目は、これまでスポーツ推進課と学校教育課の方で随分情報交換会を行ってきましたが、令和5年度以降については、その情報交換会に参加する方の幅を広げ、広くいろんな意見を取り入れていきたいと考えております。</p> <p>例えば、校長会や中体連、市スポーツ協会、保護者の方も、今後の先行きに不安に思われていることもあるかと思っておりますので、そういう保護者の声も拾っていくということも視野に入れて取り組んでいきたいと考えております。</p> <p>5点目は、現実として競技によっては本当にチーム編成ができないという実情がありますので、合同部活動については推進していきたいと考えております。</p> <p>令和4年度に先進地の視察等も行きましたが、その先進地も合同部活動の取り組みは非常に大事に取り組まれています。先進地の取り組みを参考にしながら進めていきます。</p> <p>以上、大きく5点です。</p> <p>また今後とも、いろんな方々にご指導いただきながら進めて参ります。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>以上です。</p>
議長	ただ今の説明について、何かご質問、ご意見等ありませんか。
委員（多田）	今言われたロードマップはいつ頃にできる予定ですか。
事務局（御厨）	<p>まず今考えているのは、来年度5月頃から着手し、令和6年度を目途に進めていきたいと考えています。</p> <p>それと、先程の情報交換会についてですが、市内の各スポーツ施設や各種競技団体等の方なども一緒に入って頂いて、いろんなご意見を聞いていただきたいと思います。</p>
議長	<p>実は先週、県のスポーツ推進審議会がありまして、今、県の教育委員会で考えているプランが出されました。</p> <p>一方で、県内で非常に進んでいる三豊市は、実際に指導される方々への研修会が5月中旬から始まります。部活動における教育的意義はどういうところにあるのかということ、スポーツ指導におけるハラスメント等々についてなどの内容について研修が行われます。今まで地域でスポーツ指導していた方にとっては、今度は学校現場に入って指導を行うという学校教育との関わりを持つということになります。その様子を見ながら丸亀市はロードマップを作られたらいいのかなと思います。丸亀市は所帯が大きいですから、そのあたりご苦労はあるのかなという感じはします。いずれにしても、そろそろ県からも、部活動の会議を5回、6回重ねてきましたので、そのあたりが示されると思います。</p>

委員（多田）	<p>今の状況としては、丸亀が周りばかり見ていて心配しています。周りの様子を見ながら進めるとどうしても対応が遅れます。やはり全国的な先進地は、できることからどんどん取り組んでいます。その積極性がないと絶対遅れをとるのが目に見えているので、もっと取り組みを積極的に行ってほしいと思います。</p> <p>平日指導を行う先生と、試合のときに見ていただける指導者の方との連携についても考えさせられます。5日間の子どもの成長、体のコンディション、いざ試合の時に指導される側の子供たちがどう感じるのかというのはあると思います。</p> <p>様子を見て対策が遅れるようなことがあれば、なおさら子供たちも部活に対して興味がなくなって、競技人口が減ってくることを心配しています。</p>
議長	<p>貴重なご意見だと思います。県の委員会でも私が強く申し上げたのは、とにかく地域格差、学校格差にならないよう、県教委としては動いてくださいということです。これはおそらく、結構な差が出てくると思います。この中学校だと部活ができるけれどこの中学校ではできないとか、この町ではできるけど、この町ではできないという話になっていくと、あくまでも義務教育なのでそこを忘れてはいけないと思っています。</p> <p>難しいところで、いわゆる部活動が学校から切り離されていく形にどうしてもなってくるわけですので、まず教育現場との繋がりを保っていかれたらいいのではないかと思います。</p>
事務局（御厨）	<p>特に丸亀は本当に活動を通しての教育的意義は非常に高い地域であると考えていますので、地域移行を進めることで一番だめなのは、子供の居場所がなくなることだと思います。</p> <p>しっかりと状況を見ながら、子供たちが安心して、スポーツの技能の差だけではなく、ここに子どもたちの居場所があるということは大事にしながら進めていきたいと思うのと、部活動をするために学校に来ていた子も実際に、そういった子たちに声かけをしながら、学力を伸ばしていくような関係を作ってきたところもあるので、そこは今後も大事にしていきたいと思います。</p>
委員（前谷）	<p>私がちょっと関わっている情報のことを少しお話致しますが、今の部活動地域移行のイメージは、部活動の中に地域の方が入って指導していく流れと、スポーツクラブやスポーツ少年団の指導者が中学生も指導しましょうという流れがあります。その流れの中で、ある中学校で、部活動に入っている生徒を受け入れましょうということになった時に、ここの部活動の参加、在籍人数が何人というふうになる恐れがあるというのが実は少し見えてきています。ですので、それが悪いとは言えないのですが、そういう流れもなきにしもあらずです。逆に、部活動で総体に出られなくなるという恐れもある。いわゆるクラブができたことで、そこに入る子どもがいたら、中学校の部員の人数が足らなくなるということもあるので、これも一つ視野に入れておかないといけないことだと思います。</p>
委員（多田）	<p>合同部活動という形にもしなってくれば、二つの中学校の部活動に対して考えていく必要が出てくると思います。でも、いろいろとやってみないと、どうなるかわからないところもあると思うので、まずは実際に動いてみて、その中で修正していかないとはいけません。</p>

議長	<p>あとは私立の中学校がどう動くかっていうのもあります。市立の中学校が部活動を全面的にやるとなると、それはそれで問題が出てくるのではないかと思います。</p> <p>もう一つはスポーツクラブがトップアスリートばかりを集めると、いわゆる運動が得意ではないちょっとこぼれてしまう子たちが出てくるという危惧も持っています。今まで学校現場でやっていた幅広い部活動はなくさないよう考えないといけないと思います。</p> <p>そういう意味で、丸亀では子供たちをどう育てるかを、本当に真剣に地域の人を含めて考えないといけないと思っています。</p>
委員（山本）	<p>今、スポーツ少年団でも、部活動で頑張っていた子どもを引き抜くというか選択でありますよね。例えば、AとBの中学校があったとします。両中学校の地域にもそれぞれスポーツ少年団があって、そこそこ実力をつけて頑張っている。でも、今先生おっしゃったように、そうじゃない、楽しみたい子供がそのBの中学校に残って、合同で活動続けたとします。市内の大会とかは、スポーツ少年団2つ合同中学校、全部出られるのですか。</p>
議長	<p>今のところそれは認められることになっています。</p>
委員（山本）	<p>中学校で登録するかクラブチームで登録するか、どちらか選択ということですね。</p>
議長	<p>今、野球では割とそれが進んできていて、だからいい選手が出てくるっていうのがあるんですが、逆にこの学校の部活動が成り立たなくなるといことも言われていて、どういうふうにその辺をすみ分けていくかっていうのはあるとは思いますが。</p>
事務局（御厨）	<p>クラブチームのような団体が、何か引き抜きみたいな行動があったときに、やっぱり合意形成の部分が大事だと思います。関係課がそういったクラブに働きかけをしながら、とにかく取り残される子供が、何か急にチームを組めないとか、野球だったら急にピッチャーがいなくなるとか、大会参加チーム数が減っていかないとおかしいのに、地域移行するのに、大会参加チーム数が増えてしまって、教員の業務負担や出費が増えるというのは地域移行とは違うと思うので、そのあたりは上手に働きかけしながら進めていかないといけないと思います。</p>
委員（松崎）	<p>うちの孫も中学校入るときに、5～6人もスポーツクラブに入って、部活動に入らないといったことが出てきています。まんのう町でもそういうクラブに入るとなると、親の負担が増えるということで控えておいでる方もいるみたいですが、本当に心配されている格差が出てきています。</p>
委員（多田）	<p>だから、情報交換会がいかに大事かということで最初に各関係者の皆さんに趣旨を理解して、共通認識を持ってみんなで進めていく、協議をしてみんなで考える。そこをしっかりとやっていただかないと、逆に今いろいろな弊害が出てくるので一番大事だと思います。その協議をできるだけ早く初めて、何回も重ねて行くべきだと思います。</p>
議長	<p>それしかないと思います。本当に地域力が問われますので、そこに住んでいる方たちが真剣に向き合って考えていかないといけない。中学生が</p>

事務局 (御厨)	<p>いないからいいとか中学校の保護者だけが考える問題でなく、市全体のスポーツ推進としても重要な課題だと思います。</p> <p>日本のスポーツの基盤は学校が支えてきたところがあって、そこが変わるといことなので大きな転換です。ただ一応、国はこの3年で完全に移行しなさいと言っていますが、保護者の中でも理解が進んでいないと思います。保護者の声を情報交換会に取り入れる時に、その保護者の選び方もあると思いますが、現在の丸亀市では状況がこうなっていますという十分な説明が必要だと思います。</p> <p>そうですね。実際にそういった不安に思われている方の声も聞きますので、中学校入学式以降の活動紹介などの場面で、どのようにアナウンスをしていくかはしっかりと検討していきたいと思います。</p>
議長	<p>本当に情報発信といいますか、いかに情報共有ができるかが重要だと思うのですが、メディアでは関心が薄くなかなか取り上げてくれないようです。</p>
委員 (多田)	<p>ところで、委員の皆さんは丸亀の体育施設のことをご存知でしょうか。多分、私が委員になってからは視察というのは1回もありません。ですので、こういうところで審議しても、なかなかイメージがわからないと思います。施設を見学して議論することもご検討いただきたいと思います。新型コロナも落ち着いてきましたので、そういう機会を是非ご検討いただきたい。</p>
事務局 (奥田)	<p>委員の皆様につきましては、令和5年11月30日が委嘱期間の任期となっており、改めて委嘱式及び審議会を開催したいと考えております。その際には、開催場所についても検討していきます。</p>
議長	<p>それでは以上をもちまして審議を終了させていただきます。どうも皆様ありがとうございました。</p>
事務局 (野本)	<p>以上で、令和4年度第2回スポーツ推進審議会を終了いたします。本日はどうもありがとうございました。</p>